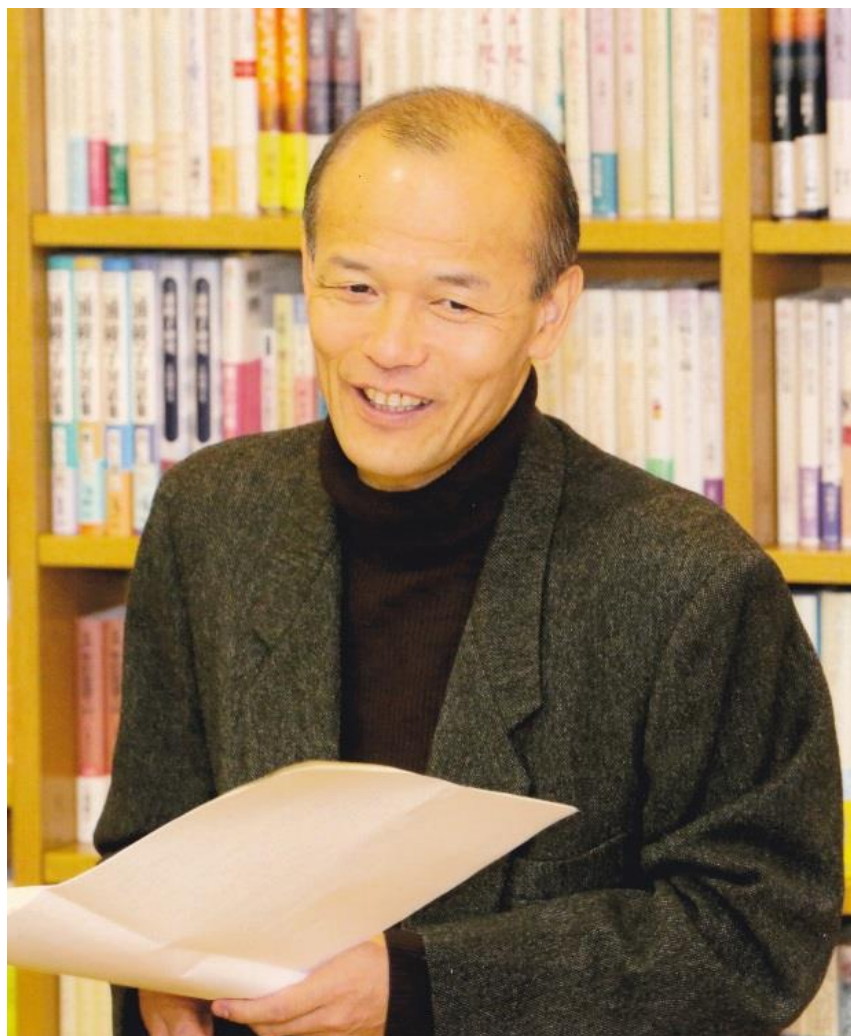




森下辰衛（もりしたたつえ）

1962 年岡山県生まれ。1992 年より 2006 まで福岡女学院大学で日本近代文学やキリスト教文学の講義を担当。2001 年より九州各地で三浦綾子読書会を主宰、2011 年より 23 年まで三浦綾子読書会代表、現在は相談役。2006 年より三浦綾子記念文学館特別研究員、2007 年福岡女学院を退職して家族と共に旭川に完全移住し、旭川を拠点に全国を飛び回って三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行っている。NHK ラジオ深夜便「明日への言葉」出演。著書『「氷点」解凍』（小学館）『あらすじで読む三浦綾子名著 36 選』（日本キリスト教団出版局）ほか。

劇団文化座公演『母』アフターイベント
**三浦綾子記念文学館特別研究員
森下辰衛氏講演会**
「『母』～ふるさとからの旅、ふるさとへの旅」

令和 8 年 9 月 19 日（土） 13：00～15：00

大館市立栗盛記念図書館 1 階 多目的室

ふるさと大館から歩き出して、喜びの涙も悲しみの涙も流しながら、母になってゆくセキ。愛のゆえに痛む人生の山路をたどって、人と人とが殺し合わないもうひとつのふるさと、もう一度いとしい子をだきしめることのできるふるさとへとたどりつく物語。その母の旅路、母という仕事の尊さを見つめます。

**参加無料
申込不要**

この講演会は、図書館後援会と図書館の
共催で定期開催している「図書館でホットタ
イム」の一環として行うものです。

主催

栗盛記念図書館後援会

共催

栗盛記念図書館

お問い合わせ

栗盛記念図書館

42-2525